

解説員 宮川は見た!

スプリングエフェメラルの一つであるニリンソウ。
“背の低さ”を克服する姿を紹介。

3月下旬～4月上旬



まだ背の高い草は生えておらず、日差しがたっぷり届く
背の低いニリンソウでも日差しを独り占めでき、すくすく成長



4月下旬～5月



背の高い草が生えると、地面に日差しは届かない

こうなると背の低いニリンソウは日差しをもらえず、生きていけない

●わずか1か月で周囲の環境が激変するなか、ニリンソウは日差しを求め背の高い草が生える前の**春にいち早く咲くことを選んだ**のです。

●これは進化の過程で「自分の場席を取る」という考え方にあたります。映画館に早く行き、お気に入りの席を確保するという行為と似ていませんか？自然界でも同じようなことが起きているのです。

カタクリあれこれ

春の花の中でもカタクリは人気を集める花です。
そこでカタクリに関連した色々な情報をお伝えします。

開花まで
7年以上

花を咲かせる株には葉が2枚あります。葉が1枚の株に花は咲きません。

花を咲かせる株の葉の長さは6cm以上あります。右のスケールは約6センチ。野外で株を見つけたら葉の長さを測ってみましょう。

観察地
紹介

うなぎわ
① **海沢カタクリ山**
地元の方々が大切に守っているカタクリの群生地。

群生地は急な斜面にあり、足元が不安定。
誤ってカタクリを踏まないようにしてください!

海沢カタクリ山の群生地



奥多摩ビジターセンター館内では行き方が分かる地図を配布しています(HPIにも掲載しています)。

ごぜんやま
② **御前山**

山の上にあるカタクリ自生地。毎春カタクリを見にたくさんの登山者が訪れます(健脚登山)。

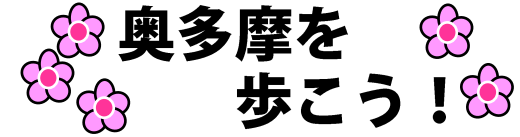


案外
身近?

家の近くに自然林がある公園や散策路でカタクリを探してみよう! 片隅でひっそりと咲いているかも。

片栗粉

片栗粉の名前の由来はカタクリです。昔はカタクリの球根が原料でした。今はほとんどジャガイモが原料です。



春の花 Spring Flowers



春の風物詩
カタクリ(上) と ニリンソウ(下)

奥多摩ビジターセンター

奥多摩・春の花

春、花も咲き始めいい季節です。今回は見られる花の名前や生き方を紹介。花の名前や生き方が知られて
いるものは多くありません。それを知られお知るほど自然との一体感が高まり、奥多摩がより面白くなります！

海沢カタクリ山



カタクリ



ニリンソウ



アズマイチゲ

氷川溪谷



タチツボスミレ



ヨゴレネコノメ

人里周辺



フクジュソウ



オオイヌノフグリ

山の中・沢沿い



イワウチワ



ハナネコノメ



フモトスミレ



ヒトリシズカ

名前の覚え方（一例です）

由来と漢字 ～ニリンソウとアズマイチゲの場合～

- 由来を調べる ～咲き方から名前が付けられる場合が多い
- 漢字ではどう書くの？ ～カタカナの元は漢字にあり

名前	由来	漢字
ニリンソウ	1株から2つの花を咲かせる草	二輪草
アズマイチゲ	アズマ：東日本に生息 イチゲ：花が一つ咲く	東一華

- 名前の由来や漢字を思い出せば名前を思い出せます。

花の生き方

スプリング エフェメラル

Spring Ephemeral

～春のはかなく短い命

- スプリングエフェメラルって何？
スプリング(Spring)は春、エフェメラル(Ephemeral)ははかない、一日限りなどの意で、春に生きる花や虫に対してよく使われます。
- スプリングエフェメラル、どこなく優雅な感じがしませんか？
でも生きものは必死なのです。自然界の生きものは互いに競合していて、他の花が現れるより一足早い春に現れることで争いを避け、より多くの子孫を残せるようにしているのです。

➡ That's why スプリングエフェメラルは春に生きている

奥多摩を歩く皆さんへ

- 春の奥多摩を歩き、花を見つけ、その名前や生き方を知れば自然との一体感が増すよ！
- 花は優雅に見えるけど、本人は必死。見つけたら“頑張れ”という目で見てあげてね！！

